

東京の家と森を育てる

TOKYO WOOD

TOKYO WOOD STORY

～多摩の檜で造る東京の家～

2010年、東京・多摩地域の林業家、製材工場、プレカット工場、
工務店が一つのチームになり、TOKYO WOODブランドによる家づくりが始まりました。
東京・多摩地域で生産された杉や檜などの木材を、東京で利用するという地産地消。
TOKYO WOODの家づくりは、東京の森林の健全な木材生産サイクル、
自然環境を維持し、「東京の森を守り、林業の活性化」に貢献しています。



TOKYO WOOD Promotion Association
一般社団法人 TOKYO WOOD 普及協会



団体概要 - OUR TEAM -

良い家をつくり、長持ちさせる
TOKYO WOODの家づくり

当団体は、2010年に国土交通省が公募した長期優良住宅先導事業をきっかけに発足しました。住宅業界では「いいものをつくり、きちんと手入れして、長く大切に使う」という思想をもつ「長期優良住宅（200年住宅）」という世代を超えて住み継がれる「ストック型」住宅への転換期でした。そこで、株式会社小嶋工務店も本事業を先導します。再生可能な地域社会を目指すため、東京都の面積の3分の1が森林である事に目を向け、その森林資源を有効に活用した「地産地消の家造り」を促進する事になりました。二酸化炭素排出量の削減という環境保全の促進に寄与すると共に、地域産業の活性化、はたまた流通の活性化といった循環型社会形成構築の一助になるべく、2012年に川上から川下まで（素材生産 原木供給、製材、加工・プレカット・流通、設計事務所、不動産、住宅供給・工務店）を整備、「一般社団法人 TOKYO WOOD 普及協会」を設立、地産地消の家造りを一貫工程で供給出来る体制を築きました。



上棟現場 TOKYO WOODの構造材

林業会社



代表 田中 惣一

種原村

田中林業株式会社

製材工場



代表 青木 高輔

種原村

東京ファニチャーズ

FSC : SGS-FM/COC-011063
SGEC : SGSJP-036



代表 沖倉 善彦

あきる野市

沖倉製材所

FSC : SGSHK-COC-350061
SGEC : SGSJP-W082

プレカット工場



代表 中嶋 博幸

あきる野市

有限会社中嶋材木店

SGEC : JAFTA-W147



執行役員 小林 哲也

東大和市

株式会社 九カキ

FSC : SGSHK-COC-350186
SGEC : SGSJP-W113

工務店



代表 小嶋 智明

小金井市

小嶋工務店

FSC : SGSHK-COC-350262
SGEC : SGSJP-W138

プロモーション -PROMOTION-

東京の木で家を建てる
TOKYO WOOD モデルハウス

TOKYO WOODの家を体感できるモデルハウスは、「立川 / 立川第一展示場」、「小金井 / 宿泊体感モデルハウス小金井」、「三鷹 / ハウジングプラザ三鷹」に設けております。三鷹展示場については、東京都産業労働局の事業選定を受け、2018年4月28日に朝日新聞総合住宅展示場ハウジングプラザ三鷹第一会場内に、一次取得者向け、二次取得者向けの多摩産材モデルハウス（地域型住宅）を2棟オープンしました。土日、祝祭日に多摩産材（地域材：TOKYO WOOD）に慣れ親しんで頂くイベント開催の強化をすると共に、多方面（消費者、事業者、行政関係者、メディア関係者等）からの問合せに対してもモデルハウスの案内（地域型住宅の説明等）を含め対応、普及促進活動に力を入れています。



TOKYO WOOD のこだわり -FEATURE-

産地証明だけでなく 独自の基準と加工法のこだわり

TOKYO WOOD は、東京のブランド材である多摩産材を使っていますが、この産地の証明に加えて、独自の品質基準と加工法を設けました。「① 天然乾燥」「② 四面背割」「③ グレーディングマシン」。天然乾燥とは、その名の通り自然に木材を乾燥させる方法です。ただ切った木材を並べて待つしかないこの方法は、非常に時間がかかります。なぜこの方法を取るのかというと、薪炭の時だけ価値があるような家は、東京にはもう不要なのです。永く使い、思い出を刻み、資産として受け継いでいける家を作るためには、木の乾燥にも時間をかける必要があります。



グレーディングマシンによって品質検査を終えた TOKYO WOOD (E-硬度 /SD-含水率)



天然乾燥

自然に乾燥させることで木が持つ艶を損なうことがありません。美しい木目や本来の色をそのまま活かすことができます。



四面背割

本体は一面のみで入れる背割ですが、四面に入れることで、木の狂いが少なくなります。



グレーディングマシン

「含水率 SD < 20%・ヤング係数 E (硬度) > 90」を品質基準としています。合格した柱には印字を行います。







これまでの実績 - PERFORMANCE -

地産地消の家づくりを 持続させることで森林を循環します

2010年から始まった TOKYO WOOD の家づくり、2020年3月をもって10周年を迎えました。供給実績は木材納品ベースで512棟、地域材(多摩産認証材)の活用実績は4,756.32m³になります。過去の最高・最低実績年度(2年間)を除くアベレージは、53棟/年、500.07m³、9.43e3/棟となり、多摩産材認証材の活用実績としては、全国NO.1となります。また、住宅購入者(消費者)を対象としたバスツアーの参加者は、年3回(多い年で4回)の継続実施をもって、大人・子供を合わせ延約720組、1,000名に上り、地産地消の家づくりは、消費者の関心を集めています。2014年には、テレビ東京「日経スペシャル」ガイアの夜明けで「ニッポンの“宝の山”を活かす」と題された活動内容が採り上げられました。昨年には TOKYO WOOD のサプライチェーンの全てが森林認証を取得しており、森林認証の家造りも可能になりました。



TOKYO WOOD バスツアーの様子 / 檜原村東京チェーンソーズの山の見学後

 10周年 活動期間	 78万円 平均坪単価	 4756 m³ 使用原木量
 720組 (約1,000名) バスツアー参加者	 512棟 着工数	 NO.1 多摩産材使用量

